

「フード・コミュニケート・プロジェクト」推進会議の開催要領

第1 趣旨

消費者ニーズが多様化・高度化する中、食品事業者が食品に関する情報の内容、提供手法等について主体的に選択し、これに弾力的に対応することにより、消費者の信頼確保、さらには生活満足度の向上を図ることが求められている。

こうした情報提供活動等が持続的に発展するためには、食品事業者の取組が適正に評価されることを通じて、消費者・事業者双方にとってメリットとなる環境を整備することが課題となっている。

このため、農林水産省として、消費者の信頼確保、満足度向上のための食品事業者の情報提供活動等が適正に評価され、企業価値の向上等につながる環境整備等を図る新たな政策手法について検討することとする（「フード・コミュニケート・プロジェクト」）。

この検討に当たっては、関係者が多種多様であること、民間の自由な発想による新しいビジネスの創出が必須であること等から、まず、民間有識者を交えた勉強会「フード・コミュニケート・プロジェクト推進会議」（以下「推進会議」という。）を開催し、プロジェクトの定義づけ等を行うとともに、検討作業のプロセスを戦略的に組み立てることとする。

第2 検討事項

推進会議においては、以下の事項を検討し、7月中を目途に一定の取りまとめを行い、秋以降のプロジェクト推進につなげることとする。

- 1 積極的に情報提供等を行う事業者のメリットにつながる評価スキームのあり方
- 2 評価スキームを活用したビジネスの実現可能性
- 3 幅広い関係者の参画を得る仕組み
- 4 1～3を実現するための検討作業の進め方

第3 構成

推進会議は、別紙1の民間有識者と農林水産省職員から構成する。
構成メンバーは必要に応じ追加することができるものとする。

第4 その他

推進会議の事務局は、消費・安全局表示・規格課に置くものとする。

(別紙1)

「フード・コミュニケート・プロジェクト」推進会議 委員名簿

| 氏 名 | 所 属 |
|--------|--------------------------------------|
| 宇田川 将生 | 東京海上日動リスクコンサルティング株式会社 製品安全マネジメントグループ |
| 白州 達也 | 株式会社 電通 ソーシャル・マーケティング部 |
| 森田 淳 | 株式会社 KPMG FAS ホスピタリティグループ |
| 新谷 大輔 | 株式会社 三井物産戦略研究所 パブリックビジネス推進チーム |

農林水産省職員 参加者

| 氏 名 | 所 属 |
|--------|-------------------|
| 新井 ゆたか | 消費・安全局 表示・規格課長 |
| 森川 恵介 | 大臣官房企画評価課 企画専門職 |
| 三野 敏克 | 総合食料局食品産業企画課 課長補佐 |
| 神井 弘之 | 消費・安全局表示・規格課 課長補佐 |
| 渡邊 桃代 | 消費・安全局消費者情報官室 |

必要に応じて、構成員を追加できるものとする。